

# なかつか 亮



## 品川区の保育園入園事情…今年は494人が入れなかった

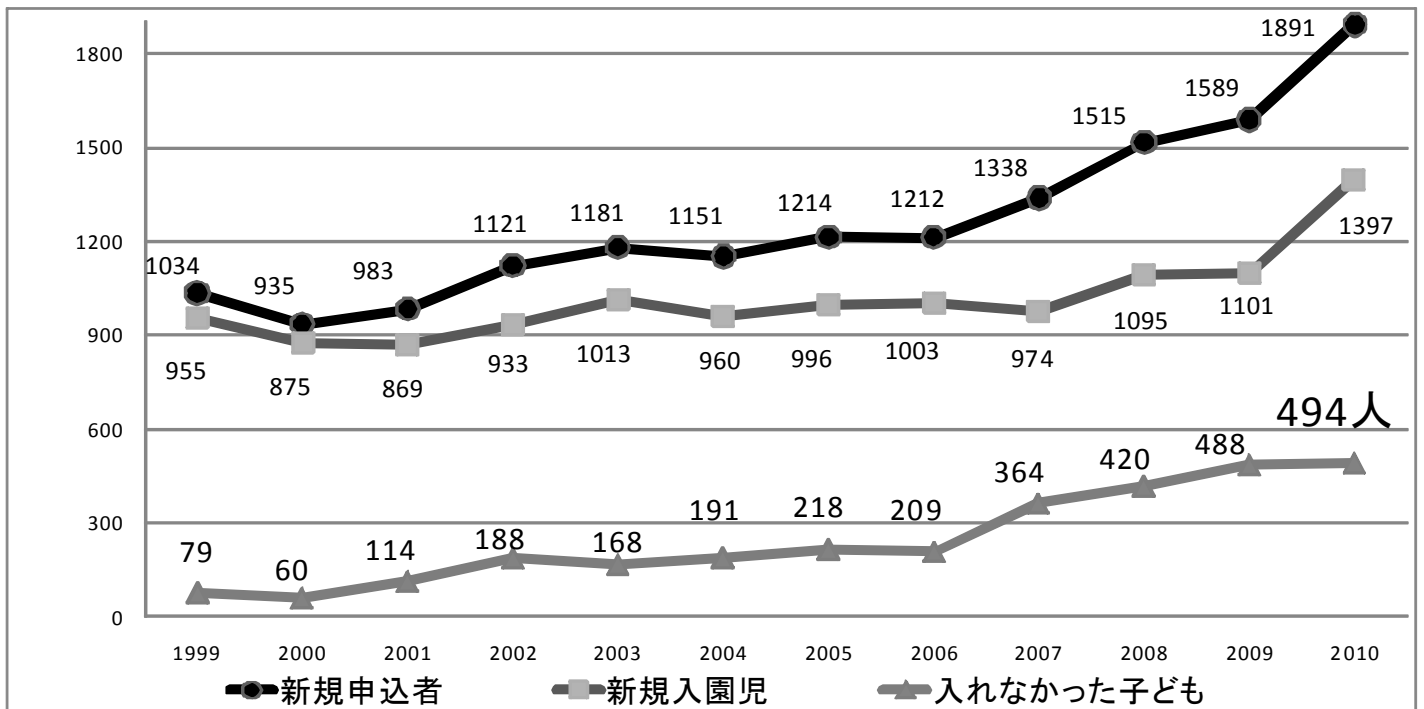
### 待機児解消は「つめこみ保育」でなく

# 認可保育園の増設を！

品川区では今年4月に494人の子どもが保育園に入れませんでした。マスコミでもでも大きく報道される待機児問題。なぜ、解決しないのか。考えたいと思います

### 切実な保護者の声

少子化にも関わらず、認可保育園に入りたくても入所できない子ども達が増。"保活"という言葉まで飛び出すなど、深刻な社会問題化しています。なぜ待機児問題は解決しないのでしょうか。待機児急増の最大の要因は、保育需要に認可保育園の整備が追いついていないためです。下図をご覧ください。あたり前と言え、あたり前ですが、申請者の増加と比例して保育園に入れない子どもが増えていきます。裏へ



週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載  
なかつか亮メールアドレス「ryo@nakatsukaryo.net」

# 名ばかり

## 待機児解消策

国や各自自治体はもちろんの事、選挙になれば各党が公約に「待機児対策」を掲げます。注意して欲しい点はその内容。肝心の「認可保育園の増設」が抜け落ちていっているのです。待機児解消策に、認可保育園の増設を位置づけて「いるのか」「いないのか」。ここを曖昧にしているのは待機児問題は解決しません。

品川区の待機児対策を見ると主な内容は「民間の認証保育所誘致」「既存認可保育園の活用」で、認可保育園の整備が柱にあります。「民間の認証保育園誘致」ですが、必要数が足りない事態に整備が追いつきません。そもそも認証保育園に子どもを預ける保護者の多

くが「認可園に申し込んだが入れず、しかたなく認証保育園に預けている。本当は園庭もある認可園が希望」と話しています。



## 認可保育園の

### 増設こそ

「既存認可保育園の活用」とは、具体的には「基準の定数以上に子どもを受け入れる」「入園できる定数そのものを増やす」というもの。保育園の数は同じだが、多くの子どもを受け入れる方法などで、今年は昨年より390人も受け入れ数を増やしました。しかし、これだけ「つめこみ保育」をしても、認可保育園に

入れない子どもが増加とは、保育園需要に見合う認可保育園整備をしなれば待機児問題は解決しないのです。

共産党はこの事を「つめこみ保育はもう限界。待機児解消は認可保育園の増設でこそ」と訴えています。

品川区は「認可保育園の増設は、将来の財政負担をもたらす」と説明します。これは保護者に「しばらく我慢せよ」と言うものです。税金を子育て支援に充てることは社会を発展させる方向。認可保育園は、仕事と家庭の両立を支え、子どもの成長を保障し、女性の社会参加を応援します。共産党は引き続き、保護者と力をあわせて、保育園の増設を進めます。

なかつか亮

## 都営住宅入居募集

品川生活と健康を守る会が相談会を行いますので紹介します。お気軽にご参加ください。

### 相談会の日程

8月5日(木) 午後6時～8時

大井第二区民集会所

主催：品川生活と健康を守る会

(電話 3773-2391)

催物

あんない